

2009年度

科目名	文化財科学Ⅱ(保存科学)			
担当教員	増澤 文武			
配当	文財2		コード	25290
開期	後期	講時	火曜日5限	単位数 2
授業テーマ	文化財の保存・修復			
目的と概要	文化財科学(広義の保存科学)は文化財そのものの自然科学的調査・研究(年代測定、産地同定、材質や製法技術、古環境復元と文化財の保存継承のための調査研究・技術開発(狭義の保存科学)とその他の文化財調査用研究開発あり、本講義はこれらの中の「文化財の保存継承に係わる自然科学的・技術的研究」すなわち狭義の保存科学について概説する。あわせて文化財の保存・継承の意味を考える事例を提供する。			
成績評価法	平常点30%、試験結果70%の割合で評価する。平常点は積極的な対応を評価したい。			
テキスト	なし			
参考書	『文化財保存環境学』、三浦定俊・佐野千絵・木川りか著、朝倉書店 『文化財のための保存科学入門』、京都造形芸術大学編、角川学術出版			
履修に当たっての注意・助言	講義中、いつでも積極的な質問・意見を歓迎。各時限に際し、講義についての疑問、意見、感想などを書いて提出して欲しい。			
講義計画				
第1回 保存科学の歴史(1)ーオリエンテーションー 第2回 保存科学の歴史(2) 第3回 文化財保存環境学(1)ー大気・温湿度ー 第4回 文化財保存環境学(2)ー空気汚染・光ー 第5回 文化財保存環境学(3)ー生物劣化ー 第6回 博物館・資料館における総合的有害生物管理 第7回 人の手で継承されてきた文化財の修理(伝統技術)・継承の概要 第8回 出土土器の保存処理 第9回 出土木器の保存処理 第10回 出土金属器の保存処理 第11回 民俗文化財の保存処理 第12回 保存処理・修復から得られた知見(1)ー錆びた鉄剣が語るものー 第13回 保存処理・修復から得られた知見(2)ー江戸時代初期の民俗文化財ー 第14回 文化財を保存継承する意味ー時代との関連性ー 第15回 まとめ				